

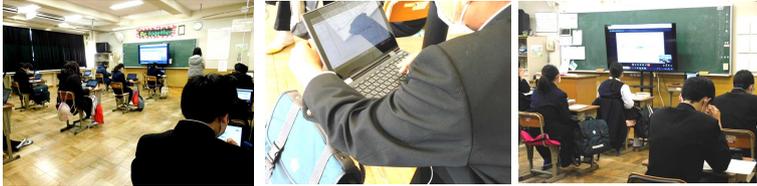
# 大夢 (だいむ)

よ野原西中学校 学校通信 第 77 号

令和 4 年 2 月 25 日 (金)

文責 校長 梶原 満

TEL 62-3703



分割授業 (広い空間で真剣に授業を受ける生徒たち)

学校生活の様子

( 2 月 )



ある日の給食

## 令和3年度ラストスパート&分割授業

## 今年度の締めくくりと来年度に向けて

3学期が始まって1ヶ月半が経ちました。そして、早くも2月の下旬となり、今年度も残り1ヶ月です。西中の生徒は、雪の影響や感染症にも負けずに、元気に過ごしています。

2月は、感染拡大のリスクや不安を少しでも減らすために「分割授業」を行いました。9月にも実施しましたが、全校すべての学級を半分ずつに分けて各教室をオンラインで結び、授業を進めました。生徒は、端末や大型モニターを見ながら真剣に授業に臨みました。制限はありますが、その環境に適応しようと努め一生懸命に学習していました。オンライン学習や分散登校などの対策を通して、学校では教育課程を工夫しながら授業時数も確保しています。今後も空白期間をつくることなく、丁寧に生徒の学習支援を続けます。また、予定されていた「入学説明会」や本校職員による島田小や西小での「出前授業」は、残念ながら中止となってしまいましたが、4月の「入学式」で新入生の皆さんに会えることを、楽しみにしています。

さて、生徒の皆さん、いよいよ今年度もラストスパートの時期を迎えました。残りの日々をどのように過ごしますか？時間は誰にでも平等に与えられます。その時間をいかに有効に使うかが重要です。令和4年度のスタートに向けて、しっかりと締めくくりをしましょう。

## 卒業目前の3年生へ

## 感謝の気持ちとエールを贈ります

来たる3月10日は「第13回 卒業証書授与式」です。2週間後には、この日が訪れます。この時期は、後期入試を控えている人や卒業に向けて準備を進めている人、3年間の思い出を懐かしんでいる人など、様々だと思います。現在の心境はいかがでしょうか…。

卒業を控えた3年生に、私から改めて感謝の気持ちとエールを贈ります。最も伝えたいことは、皆さんが西中生としての誇りを大切に自覚を持って生活し、しっかりと結果を残したことです。しかも、依然として不透明な状況下でも常に前向きに考え、全力で取り組む姿は本当に立派でした。3年生の熱い思いは、必ず後輩たちが引き継ぎ、発展させていくことでしょう。卒業式当日の晴れ姿を楽しみにしています。そして、今後の皆さんの更なる活躍を期待します。

## 校長室レポート

## 「上野原西中学校 校歌」に想う

- 1番 「桂の 流れ 水清く 岸边に続く 牧野原 ゆかりの丘に そびえ立つ われらが上野原西中学校」  
2番 「平和の里に 春来れば 花よ緑よ 輝やかに 文化の波に みがかれて 伸びゆく姿 たのもしや」  
3番 「巖の松の 色増して つらぬく誠 一筋に 若き命を 育めば のぞみはるけき わが母校」

生徒の健やかな成長とふるさとの栄華を願う美しい歌詞だと感じます。この2年間は、大きな声で歌うことさえできませんでした。しかし、西中校歌は、西中の在校生や卒業生にしか歌うことのできない特別な歌です。特に3年生にとって校歌を歌う最後の場面が卒業式です。心に刻んでほしいと思います。

## 各種通信タイトル紹介

## 工夫を凝らした通信の数々



- 学校通信 「大夢」
- 1学年 学年通信 「アトムの子」
- 1年A組学級通信 「ひだまり」
- 1年B組学級通信 「B組だいすき～」
- 2学年 学年通信 「羅針盤」
- 2年A組学級通信 「(毎回異なる題)」
- 2年B組学級通信 「Heart to Heart」
- 3学年 学年通信 「Fair Wind」
- 3年A組学級通信 「笑顔」
- 3年B組学級通信 「いまを生きる」
- 特別支援学級通信 「あすなろふれあい通信」
- 保健室通信 「ほけんだより」
- 図書館通信 「読みに来て！借りに来て！」
- 食育通信 「食育だより あおぞら」 「SDGsだより」 など

## 学校評価

## 今後の教育活動に反映させる / 生徒の健やかな成長を目指す

「学校評価」は、学校教育法42条に示されており、教育活動や学校運営のあり方等について評価を行い改善を図る目的があります。また、その結果を公表することにもなっています。今年度も12月に皆さんにも協力していただきました。詳細は本校のホームページに掲載しますので、ご覧ください。

分析すると「学力向上・学習の定着」の項目でやはり関心が高いという結果でした。授業の理解度や家庭学習の状況等の回答をもとに、学校でも引き続き、授業改善と生徒の学力向上に努めます。また、数値が上がった項目は「友達との良好な関係」「あいさつ」(生徒)や「学校の指導方針」「分かりやすい授業」(保護者)などです。今後も「地域に根ざした、魅力ある学校づくり」に励んでいきます。

## GIGAスクール構想&ICT

## 活用の幅が広がり、更なる学力向上へ

「分割授業」などで大活躍のICT、生徒も教職員もすっかり端末の操作に慣れ、学校でも家庭でも幅広く活用されています。ある授業では、生徒たちが班ごとに協力してスライドを作成し、発表まで行っていました。生徒の学習に対する主体性や創造力を育み、学力の向上につなげていきます。